科目名	日本事情	英語科目名	Japanese Culture and Society
開講年度・学期	平成 27 年度・通年	対象学科・専攻・学年	3 年・留学生
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	3 単位	単位種類	
担当教員	多田哲久（非常勤講師）	居室（もしくは所属）	非常勤講師控室
電話		E-mail	

授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. 日本の社会・文化の基礎的知識を説明できること。	⑥	E	f
2. 日本の社会・文化と自国の社会・文化の異同を説明できること。	⑥	E	f
3. 社会・文化の問題点や解決策について、自分なりの意見を言えること。	⑥	E	f

各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法

到達目標 1-3：中間試験、期末試験、課題、受講態度で評価する。

評価方法

前期中間・後期中間試験および前期期末・後期期末試験の平均点の 60%、課題 20%、受講態度 20%で評価する。

授業内容

1. 授業の概観
2. 第 1 課「住宅事情」1
3. 第 1 課「住宅事情」2
4. 第 2 課「結婚と女性の社会進出」1
5. 第 2 課「結婚と女性の社会進出」2
6. 第 3 課「高齢化社会」1
7. 第 3 課「高齢化社会」2
8. 前期中間試験
9. 第 4 課「日本料理」1
10. 第 4 課「日本料理」2
11. 第 5 課「平等社会と中流意識」1
12. 第 5 課「平等社会と中流意識」2
13. 第 6 課「教育」1
14. 第 6 課「教育」2
15. 第 7 課「伝統芸能」
16. 前期期末試験
17. 授業の中間整理
18. 第 8 課「日本的経営」1
19. 第 8 課「日本的経営」2
20. 第 9 課「日本人の労働観」1
21. 第 9 課「日本人の労働観」2
22. 第 10 課「集団意識と肩書き」1
23. 第 10 課「集団意識と肩書き」2
24. 後期中間試験
25. 第 11 課「社会保障と社会参加活動」1
26. 第 11 課「社会保障と社会参加活動」2
27. 第 12 課「年中行事」1
28. 第 12 課「年中行事」2
29. 第 13 課「政治のしくみ」1
30. 第 13 課「政治のしくみ」2
31. 第 14 課・第 15 課「日本の歴史」
32. 後期期末試験

キーワード	日本、社会、文化、伝統、比較
教科書	日鉄ヒューマンデベロプメント・日本外国語専門学校、2001、『日本を話そう——15 のテーマで学ぶ日本事情［第 3 版］』The Japan Times。
参考書	

カリキュラム中の位置づけ

前年度までの関連科目	
現学年の関連科目	日本語
次年度以降の関連科目	

連絡事項

授業では、同一のトピックを 2 回にわけて行います。1 回目は教科書中心、2 回目は発表中心になります。課題は、発表のほか、適宜課します。教科書に加えて、映像や写真、新聞記事や雑誌なども多用し、日本事情を説明していきます。積極的に授業に取り組みましょう。

シラバス作成年月日	平成 27 年 3 月 13 日